

埼玉県立所沢特別支援学校の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部	児童生徒数	(男) 102 (女) 32	計 134
ホームページ	http://www.tokorozawa-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	西武新宿線「航空公園駅」から西武バスで約14分。航空公園駅東口・2番バス乗り場から「エステシティ所沢」行き(約9分)バス停「所沢聖地霊園」下車5分。					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態把握の手法を全校で統一(太田ステージ評価)その結果に基づく授業改善。 タブレット端末を最大限活用し、視覚支援と個別指導を充実。 外部専門家(カウンセラー・太田ステージ専門家・言語聴覚士・理学療法士等)の活用。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> 学部間の交流を図り、楽しみながら互いを認め合う運動会。 みんなで協力して、日ごろの学習の成果を発表するトコトコフェスティバル(文化祭)。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開を年2回実施し、開かれた学校づくりを推進。 特別支援教育公開講座を年3回実施し、発達支援、地域福祉との連携など本校の専門性を地域に発信。 					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を意識した校内研修会の実施。 高等部への進学等に向けた進路指導と、進路先との連携。 高等部等卒業後を見通した進路指導。 学部ごとの保護者向け進路懇談会の実施。 					

本校の魅力!

児童生徒一人一人の「見て、聞いて、感じている世界」を理解することから出発

本校は、高等部が移管されたことにより、平成28年4月1日から、小中学部だけの知的障害特別支援学校になりました。それに伴い、平成29年4月1日より学校教育目標も変わりました。

学校教育目標

「なかま・わかる・きぼう」

- ・ **なかま**：学校の良さは教員・子どもで構成される集団があること。ただ単に仲間と一緒に楽しめば良いということではなく、集団が苦手でも人を意識したり人との関わりを拓けることは大切であり、仲間と認め合う中で楽しさや意欲を持って欲しい。
- ・ **わかる**：少し頑張ればできそうな課題に挑戦し、分かった・出来た時の喜び・楽しさを感じることで次の学習意欲につながる。子どもの能力にあった課題を設定し、達成感を積み重ねる中で自分に自信を持って欲しい。
- ・ **きぼう**：仲間と共に分かる体験を積み重ねる中で培った力や自信を基に、自分の進路や将来について幅広く考え、可能性を信じながら目標に向かって努力し続ける気力・体力を持って欲しい。



県立所沢特別支援学校

～ 児童生徒の成長物語～

学校の特徴

- ・自閉症の特性を踏まえた指導の研究
- ・学区は所沢市のみ
- ・義務制単独校

自閉症児研究指定校

- ・太田ステージ評価の活用
- ・教育環境の整備
- ・ICTの活用

進路先、高等部等への橋渡し
(移行支援)

中学部

- ・人との関わりを大切にし、豊かな心を育む。
- ・自ら学ぶことの楽しさを知り、認識を高め、興味関心を広げていく。
- ・様々な経験を基に、自分の将来を見据え、社会性を培う。

小学部高学年

- ・友だちを意識し、一緒に活動する楽しさを知る。
- ・いろいろな経験を積み重ね、自分から取り組む意欲を育む。
- ・好きなことを見つけ、自信をもって、自分の力を発揮することができる。

小学部低学年

- ・大人や友だちとの関わりをもち、集団で過ごすことの楽しさを知る。
- ・わかった、できたという経験を通し、興味関心を広げ、主体的に取り組む。
- ・健康で丈夫な体を作り、自分の気持ちを豊かに表現する。

保護者、地域との

つながり

- ・PDCA サイクルに基づいた教育支援プランの策定

目指す学校像

子どもの立場に立ち 良さを見つけ 可能性を拓ける学校

児童生徒一人ひとりの『見て・聞いて感じている世界』を理解することから出発！
～学校宣言より～

学校教育目標

なかま わかる きぼう